

## 横浜市立大学の 14 年間にわたる挑戦！ 英語教育の成果をまとめた書籍を出版

横浜市立大学の教員らが執筆した書籍『大学英語教育の質的転換 —「学ぶ」場から「使う」場へ—』が、全国の書店にて1月25日（金）より発売されます。

これは、本学が平成17年から導入した英語科目「Practical English」を中心とした、14年間に及ぶ英語教育をまとめたもので、学生達に学士としてふさわしい英語運用能力を身につけさせるために、コミュニケーション重視の授業により「使える英語」とは何かを追究した、本学の挑戦の記録です。たとえば、TOEFL等の検定試験を成績評価に組み込み、オールイングリッシュでコミュニカティブという特徴を持つ、英語科目「Practical English」の授業とはどういったものか、英語教育を統括するプラクティカル・イングリッシュ・センター※1は学生達をどのようにサポート、指導しているのか、また、英語「で」学ぶ専門科目をどう展開させて実力を身につけさせているのか、等々、本学の英語教育のすべてを学生、卒業生の声とともに紹介しています。

今回の出版は、入試制度を含む英語教育が混迷を極めている中で、英語教育関係者、英語学習者に対し、真に使える語学力をつけるための授業方法ならびに勉強方法を提供することを目的としています。

### 【書籍概要】

著者：横浜市立大学国際総合科学群 佐藤 響子教授、

同 Carl McGary 教授、同 加藤 千博准教授

発売：2019年1月25日（金）

定価：本体2,300円＋税

頁数：216頁

体裁：A5判・横組み・ソフトカバー装

発行：有限会社春風社



### ※1 プラクティカル・イングリッシュ・センター

プラクティカル・イングリッシュ・センターは、学生の英語力を大学で知的活動を行うために必要な実践的レベルまで引き上げることを目的に英語教育の充実・強化を進めています。全学生必修の Practical English や選択必修の Advanced Practical English の授業カリキュラムの作成と運営のほか、教員による個別カウンセリングやコミュニケーション・アワーの実施、アカデミック・ライティングやアクティブラーニングのサポートなど、さまざまな学修支援を行っています。

## 参 考

### ○書籍の構成

#### 第Ⅰ部 横浜市立大学の初年次教育

##### 第1章 共通教養教育概要

#### 第Ⅱ部 Practical English への挑戦

##### 第2章 Practical English 概要

##### 第3章 Practical English クラス

##### 第4章 eラーニング

##### 第5章 スピーキング・テスト

##### 第6章 多読活動

##### 第7章 反転授業

#### 第Ⅲ部 Practical English センターの活動

##### 第8章 コミュニケーション・アワー

##### 第9章 ライティング・センター

##### 第10章 教員研修

##### 第11章 現職教員から見た PE 授業への評価

##### 第12章 実用的看護英語教育プログラム

#### 第Ⅳ部 TOEFL500 点取得、その後の教育

##### 第13章 Advanced Practical English

##### 第14章 英語によるディスカッション中心のアクティブラーニング

##### 第15章 英語の教え方を英語で学ぶ！

##### 第16章 CLIL を採り入れた専門科目

##### 第17章 社会言語学で行うリサーチ・プロジェクト

##### 第18章 初習外国語

#### 第Ⅴ部 成果と今後の展望

##### 第19章 Practical English プログラムの成果

##### 第20章 課題と展望

### ～学生・卒業生の声～

- ・ライティング・センターを活用し最優秀弁論者へ
- ・私の学びを支える APE とドイツ語
- ・フランス語とともにあった4年間
- ・大学での英語学修と教員への道
- ・English Learning Experiences at YCU